

令和5年度 京都府立嵯峨野高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>◇ 「和敬」・「自彊」・「飛翔」を教育の柱に据え、志を持って人生を主体的に生きる生徒を育て、国際社会のさまざまな分野でリーダーとして貢献できる人材の育成を目指す。</p> <p>◇ 高いレベルでの自己実現を希求し、主体的に学ぶ姿勢と高みに挑むチャレンジ精神を備えた生徒の育成を図る。</p> <p>◇ 豊かな人間性の育成と高い学力の伸長を図る。</p> <p>◇ 生徒・教職員が一体となり、社会の教育力を有効に活用しながら Sagano Dynamicsを推進する学校づくりを進める。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Sagano Dynamics: the way in which things or people behave and react to each other</p> </div>	<p>① 通常授業や研究授業等において、学習用タブレット端末の活用方法の共有と改善に取り組むことができた。今後は、学力伸長に向けた取組や学校生活のあらゆる場面ででの活用に取り組む。一方、国際交流については、オンラインにより年間36回延べ1970名の生徒が海外の高校生と京都の伝統や日本文化について交流することができた。今後は、できるところから対面の活動も再開させていきたい。</p> <p>② 各部署からの連絡等をそれぞれに応じたアプリ等を活用することで円滑に連携ができた。また、デジタルデータの文字検索を活用すること業務改善につながった。今後は情報の共有や分掌間の協力体制を強化していくことが必要である。</p> <p>③ 新学習指導要領に則り、3観点の観点別評価を各教科で継続的に検討し、円滑に実施することができた。今後は、教科間の実施方法を共有し、より適切な評価が行えるように努める。</p> <p>④ 日々の教育活動をとおして身だしなみやルール・マナーについて規範意識の向上を目指したり、委員会活動や学校行事において、生徒の主体性や適切な判断力、実践力を向上させることを目指した。</p> <p>⑤ 校内の教育支援コーディネーターを中心に、外部機関との連携をもちながら、様々な課題のある生徒に対して適切に対応することができた。一方、各種委員会活動による教室の換気の必要性やゴミの分別徹底の啓発ポスターなどの活動をとおして、状況の改善が見られた。しかし、節電に対する意識の向上には課題があった。</p> <p>⑥ コロナ禍でも工夫した各イベントを実施し、図書館の利用推進を図ることができた。</p> <p>⑦ 学校説明会をとおして、本校の目標や教育活動を知らせることができた。また、工夫して、地域の小学生を対象に科学教室を実施することができた。今後は、さらに本校の魅力を伝える場面を多岐にわたり設定できるように努める。また、ブログの活発な更新により、学校の様子などを知らせることができた。今後は、HPのデザインを更新しさらに見やすい分かりやすい情報公開を目指す。</p> <p>⑧ 設備の老朽化については、適宜改修を行うことができた。また、LED化や人感センサーなど時代に即した設備改善を進め、節電にもつなげる。授業配信に関して、機器整備などを進めることができた、今後状況に応じた活用方法を検討することが必要である。</p>	<p>① 魅力ある学校作り 主体的に学び続ける生徒を育てるため、質の高い学びを提供する。</p> <p>② 組織とその運営 分掌間の連携を密にして、全校体制で教育活動を推進するとともに、様々な視点からの危機管理意識を高め、安心安全な教育環境の構築に努める。</p> <p>③ 学習と進路指導 新学習指導要領に基づく教育を推進するとともに、あらゆる機会をとおして、自己の将来に対する明確なビジョンに基づいた高い進路目標の実現に努める生徒を育成する。</p> <p>④ 生徒指導と特別活動 人権尊重の意識や、挨拶・マナー等の規範意識を向上させるとともに、多様な価値観を受け入れ、自立した行動ができる生徒を育てる。また、特別活動をとおして、主体的・協働的に行動できる人材を育成し、対話を重視した活気ある生徒集団を育てる。</p> <p>⑤ 健康安全と環境美化 すべての生徒が心身両面において健やかな学校生活が送れるようにサポートする。また、環境美化意識を高め、学習環境の維持や校内美化に努める。</p> <p>⑥ メディアの活用 学校図書館の機能や役割を充実させ、生徒の読書活動や探究活動をさらに活発なものとす。</p> <p>⑦ 家庭・地域社会との連携と広報活動 校種間連携や外部との連携を進めるとともに、学校の魅力を広く伝え、中学生や府民から期待され、選ばれる学校をめざす。</p>